

#### ① 学校全体の評価について

アンケート全20項目の平均値は、教員対象が2.0、生徒対象が1.8、保護者対象が2.0で、昨年度末と比較すると教員対象、生徒対象で0.1ポイントの改善がみられたが、保護者対象では0.1ポイント下回った。全体として概ね良好な評価と判断できる。今年度も新型コロナウイルス感染症の拡大により教育活動が制限される部分があったが、各教員・各部署で協力して校務運営に当たることができた。前期末には学校全体や各部・各学年・各教科で反省を行い、今後の課題等を検討しながら、よりよい評価へ繋がるよう努力していきたい。

#### ② 各項目の評価について

今年度の中間評価において、各項目の平均値は、教員対象では全20項目の平均値2.0の±0.3の範囲内、生徒対象では全20項目の平均値1.8の±0.2の範囲内、保護者対象では最高平均値が1.7であり、それ以外の項目は全20項目の平均値2.0の±0.1の範囲内となった。教員対象で質問項目間における評価の平均値のばらつきが大きく見られた。年度末に向けては、特に評価が全20項目の平均値を下回ったものについて、改善に向けた方策を検討し、学校全体で取り組んでいきたい。

#### ③ 平均値の高かった項目・低かった項目について

教員対象、生徒対象、保護者対象のいずれも、大項目「多様性を尊重し国際社会・地域づくりに参加する態度」の3項目全てが高い評価となり、平均値の最も高い項目が含まれる。昨年度から全校生徒及び全職員がSDGsに意識的に取り組むために、毎月17日にSDGs day、6月と11月にSDGs weekを設定した。国際交流委員会や生徒有志などの団体が様々なSDGsの実践となる活動が行われ、今年度になり対外的活動もさらに充実したこと、その様子や成果を校内に掲示したり、ホームページで発信するなどしており、高い評価が得られたものと考えられる。

生徒対象、保護者対象で次に高い評価が得られた項目は「項目番号1 生徒が主体的に取り組む総合的な探究の時間を実践している。」で、平均値は生徒対象で1.7、保護者対象で1.9であった。本校において総合的な探究の時間が本格実施されて2年が過ぎ指導のノウハウが蓄積されてきたことや探究カフェの充実等によりこのような結果が得られたものと考えられる。一方、教員対象では昨年度末より0.2ポイント下がって1.9となった。このことから探究に関する指導の難しさを感じながら、指導方法を模索している様子が伺える。

次に、教員対象と生徒対象において昨年度末から0.3ポイントと大きくポイントが上昇した項目は「5 ICTの効果的活用の研究を行い学習活動に取り入れている。」で、平均値は教員対象で1.8、生徒対象で1.9であった。これはICT指導力向上開発校として設備の充実が図られたことや様々な取り組みの成果が現れたものと考えられる。

教員対象で最も高い評価であったが、生徒・保護者対象では全20項目の平均値となった項目は「14 進路実現に資する行事の開催と全職員によるていねいな指導と支援を行っている」であり、平均値は教員対象で1.7、生徒対象で1.8、保護者対象では2.0であった。教員から見れば、この項目は本校が継続した取り組みを行っているもので教員自身が積極的に指導しているという自負がうかがえるものである。しかし、生徒・保護者対象の結果と若干の隔たりがあることから、それを埋める方策が必要であると思われる。

教員対象で最も評価の低かった項目は「10 成功失敗に関わらず自分で考え挑戦する学習活動を行っている。」で、平均値は2.3であった。教員としては教育の効率を考えてしまい、生徒が自分で考え挑戦する思い切った学習活動をできずにいるという思いがあるのかもしれない。しかし、生徒・保護者対象では20項目の平均値より0.1ポイント下回る程度であり、生徒対象についていえば昨年度末より0.1ポイント改善している。生徒目線で見れば、教員が考える以上に学習活動に対して生徒本人が考え、挑戦しているという意識を持っていると感じているのかもしれない。教員側でさらに意識をもってこの項目に取り組むことにより、生徒の挑戦を応援していきたいと考える。

教員対象で2番目に評価が低かった項目は「4 各教科・科目、総合的な探究の時間、学校行事等教育活動全体を効果的に連携させている。」と「19 教育活動を的確に評価し、改善を切れ目なく行っている。」で、平均値は2.2であった。これらの項目は、今年度から実施されている新教育課程の根幹に関わる部分であるため、実践を重ねながら改善に向けた方策を検討し、全教職員でビジョンを共有しつつ、さらに実践を積み上げていきたい。

保護者対象で最も評価の低かった項目は「16 生徒・保護者・地域等への情報発信のため、ホームページを充実している。」で、平均値が2.2であった。依然として続くコロナ禍においてホームページによる情報発信がますます重要になってきていることを踏まえ、改善を図っていきたい。

#### ④ 中間評価結果をふまえた改善の方向性について

中間評価段階において、各部・学年とも各評価項目について「前年度の反省・分析」→「今年度の課題・目標設定」→「課題解決のための具体的取組みの実践」というサイクルが確立されている。

後期以降は、項目について本校で従来から行われている指導と今年度からの新たな取組みについて、前年度及び前期の反省を踏まえながら学校全体や各部・各学年・各教科で十分な分析を行い、「取組みの成果」をしっかりと見極め、新たな課題設定をしていきたい。

## 後期の主な行事

### 【令和4年】

- 10月 3日(月) 後期開始
- 11月 1日(火) ふくしま教育週間(～4)
- 11月 4日(金) 国際理解・交流発表会
- 11月 8日(火) 後期中間考査(～11)
- 11月 22日(火) 遠足(1, 3年)
- 11月 28日(月) 修学旅行(2年 ～12/1)
- 12月 9日(金) ICTモデル校研究公開
- 12月 15日(木) スポーツ大会(～16)
- 12月 19日(月) 冬季休業前集会

### 【令和5年】

- 1月 11日(水) 冬季休業明け集会
- 1月 14日(土) 大学入試共通テスト(～15)
- 1月 25日(水) 3年後期期末考査(～30)
- 2月 1日(水) 3年自宅学習(～27)
- 2月 7日(火) 後期期末考査(～10)
- 2月 28日(火) 表彰式・卒業式予行
- 3月 1日(水) 卒業式
- 3月 3日(金) 前期・特枠入学者選抜
- 3月 20日(月) 後期終業式・年度末休業(～4/7)
- 3月 30日(木) 離任式

福島県教育委員会HP <http://www.pre.fukushima.lg.jp/site/edu/>

本校HP <http://asakakaisei-h.fcs.ed.jp/>